

東北大学国際高等研究教育院・学際科学フロンティア研究所共催
第5回コロキウム

東日本大震災の 被害実態と復興について －学役割など

10月27日（月）16:00-18:00

会場：学際科学フロンティア研究所 1F大セミナー室

講師

今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所所長



東日本大震災は、地震・津波さらに原子力発電所事故が加わり、人類がかつて経験の無い未曾有の複合大災害であった。震災前の学問体制の何が問題であったのか？当時どのような被害があったのか？紹介したい。現在、復旧から復興の段階に移ってはいるが、将来にも被害を繰り返さない防災が不可欠であり、同時に、地域の環境・景観との調和が必要である。現在の課題を克服し復興・再生するためにはどのような課題があるのか？将来の学役割について議論したい。

※講演終了後にパネルディスカッションを予定しています。

今村先生その他2名の先生方にご参加いただきます。

【パネリスト】

沢田 康次 前東北工業大学学長
井原 聡 元国際高等研究教育院長

【コーディネーター】

三坂 孝志 学際科学フロンティア研究所助教

「問い合わせ先」

国際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室

TEL：022-795-5749

E-mail：senryaku@iiare.tohoku.ac.jp

担当：三坂孝志（学際科学フロンティア研究所助教 物質材料・エネルギー領域）

藤村維子（学際科学フロンティア研究所 URA）